

3月5日（水） 朝礼のお話

日本人の素晴らしさ～町の餃子屋さん～

いよいよ3月になりましたね。今年度もあと一ヵ月を切りました。次の学年になるまでに学校に来る日数もあと15日ほどになりましたよ。準備は進んでいますか？

さて、今日のお話です。今日はこの西東京市内にもお店がある餃子屋さんのお話をしたいと思います。このお店は冷凍餃子だけ売っているお店なのですが、このお店、店員さんが誰もいません。では自動販売機なのかというと、そうでもありません。このお店の餃子は1パック1000円なのですが、誰でも入れるお店の中にある、鍵もかかっていない冷蔵庫の中に入れてあるだけなんです。では餃子を買う人はどうするかというと、この冷蔵庫から餃子を取り出して、お店の中にある箱の中に自分でお金を入れて買っていくわけです。もちろん、お店の中の様子を見ているカメラはありますが、餃子を買った人がちゃんとお金を箱に入れてくれるかまではわかりませんし、お金を入れずに餃子を持っていってしまう人がいても捕まえにくるわけでもありません。

校長先生も初めてこのお店の仕組みを知った時にはびっくりしました。だって悪い考えの人がいてこのお店から餃子を盗み出そうと思ったらそれは簡単にできるからです。こんな仕組みのお店で本当に大丈夫なのか心配になりました。

実はこの餃子のお店、西東京市内だけでなく、全国に200軒以上もあるのだそうです。少し前にこの餃子屋さんの広告が新聞にのっていました。それによると、全国にあるこの餃子屋さんはどのお店も店員さんがいないにもかかわらず、餃子が盗まれることはほとんどないのだそうです。それどころかこの餃子屋さんは大変繁盛していて、色々な施設に餃子を寄付して喜ばれているとのことでした。

誰もいないお店で物を売ることができる、これはつまり、「このお店に来る人は餃子を盗んでいくような人はいない」とお客さんを信用できるということですよ。そしてお客さんたちもこの信用に答えてちゃんとルールを守って買い物をしてきているということですよ。これはすばらしいですね。

でもよく考えてみるとこの餃子屋さんのような物の売り方をしているところはこの国には身近にけっこうあります。農家の方が自分のところで作った野菜を畑のそばで売っているのは普通に見られますね。お金を入れるための箱や缶が置いてあるだけです。その気になればお金を払わずに野菜を持っていくのなんて簡単です。でもそんな人はこの国にはほとんどいません。だからこんな物の売り方ができるのです。これは日本人の素晴らしさですね。

日本人は誰も見ていないところでもきちんとルールを守ります。私たち日本人にとってはあたりまえのことですが、外国の人が日本に来て大変驚くことのひとつだそうです。この日本人の素晴らしさがあるからこそ、誰もいない餃子屋さんが町の中に普通にあるわけですね。いつまでも大切にしたい日本人のすばらしさです。

今日はある餃子屋さんの紹介から日本人の素晴らしさについてお話しました。今日も最後まで一生懸命聴いてくれてありがとうございます。今日のお話を終わります。